

特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい

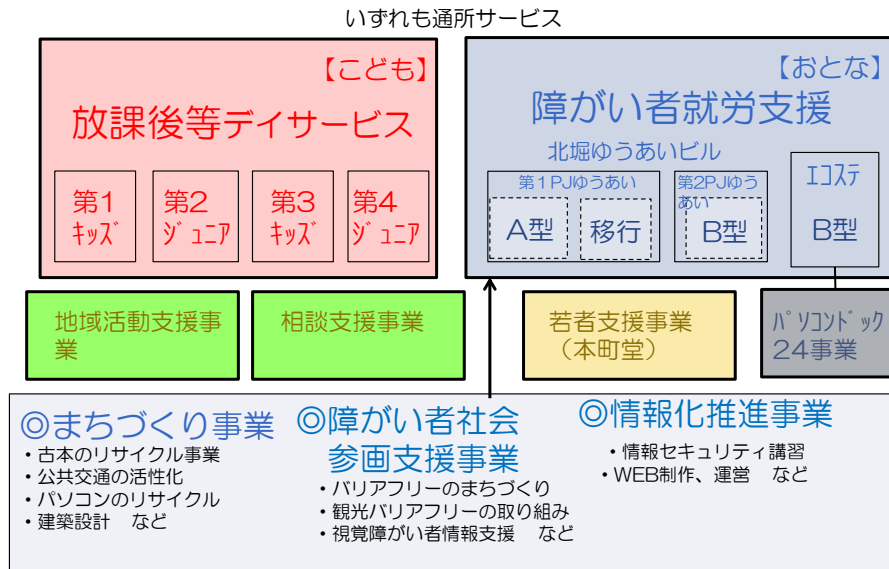
## 2022年度事業報告

2023/6

### <2022プロジェクトゆうあい 役員>

代表理事	田中隆一	法人代表
副代表理事	青山修一	放課後等デイ責任者、法人会計
理事	川瀬篤志	就労支援(エコステ責任者)
理事	斉木葉子	就労支援/法人会計、総務
理事	田中佐智子	放課後等デイ
理事/非常勤	三輪利春	
理事/非常勤	足立正智	<飴屋工房代表>
理事/非常勤	曾田暢雄	<島根県教職員互助会>
理事/非常勤	松浦澄子	<NPO法人久米の家>
監事	野田哲夫	島根大学法文学部教授
監事	渡部直樹	NPO法人CS出雲理事長

## <プロジェクトゆうあいの事業全体像>



2023.5.1時点

- 就労・若者支援職員 18名 (11名)
- 放課後デイ職員 38名 (16名)
- 相談支援・地活職員 3名 (3名)
- 小計59名 (30名)
- ( ) はフルタイム職員数

- 障がい者就労Aスタッフ 5名
- 障がい者就労Bスタッフ 46名
- 就労移行スタッフ3名

- 若者 10名
- 小計64名

合計 123名

## <2022年度トピックス>

- 全国バスマップサミットIN松江の開催(8月)
- 相談支援事業所ゆうあい2名体制
- 放課後等デイ スマホシステム導入(デイロボ)
- 地活の多目的トイレ整備
- 第3キッズ屋根改修と増築
- 島根こっころカンパニーの認定
- たのしい楽団設立10年
- 地活の取り組みとして「まちのごはん」
- 正職員の採用、登用を進める など

## <障がい者就労支援事業>

### ■就労支援事業全体の経過

- コロナの中でも安定運営
- 古本、パソコンとも堅調
- 就労支援A型
  - ・松平閣改修設計
- 就労支援B型事業
  - ・北堀Bから2名就職
- 就労移行支援事業
  - ・2人就職の実績
- 給付売上
  - ・就労全体給付費2021年度7100万円/年から  
2022年度7300万円にプラス200万

## ■就労支援で取り組む主な事業

### ●視覚障がい者情報提供

- ・市報のデージー版製作  
(毎月)

### ●古本リサイクル事業

- ・ネットでの販売、みしまや販売を着実に推進
- ・イベント参加はほぼなし
- ・ブックカバー少しずつ復調



### ●バリアフリー推進

- ・てくてく日和4回発行 40号記念
- ・島根県ユニバーサルツーリズム推進事業の受託(、バリアフリーセミナー、接遇研修、インスタ情報発信)
- ・益田ユニバーサル神楽観劇の支援
- ・2030くにびき国体宿泊施設アンケート調査



## ●公共交通事業

- ・どこでもバスブック松江2022
- ・縁結びバスマップ
- ・バス停クリーンアップ
- ・全国バスマップサミット開催(8月) など



## ●PCリサイクル事業

- ・PCエコステーション事業
- ーパソコンの分解、データ消去など
- ・パソコンドック24-パソコン修理事業
- ・パソコン解体教室の再開



- はんこ屋  
ゆうあい  
・ネットからの  
注文順調



- 福祉ネットだんだんネ  
テルサ販売  
・施設外就労として実施  
(コロナで売り上げは伸びず)



## ＜若者支援事業 本町堂運営＞

- 本町堂において、不登校やひきこもりなどの若者を受け入れる場
  - ・中間就労としての運営
  - ・居場所としての運営
  - ・季節イベント



## ＜放課後等デイサービス事業＞

### ●4事業所の療育

- ・定期的な研修会
- ・取組み報告会



- 様々な所外活動
- 子どもの写真集
- 10月に地活にて作品展

### ●就労支援について情報交換会

- 就労支援事業所見学会(保護者向け)
- デイロボ(ソフト)導入



### ●季節のイベント開催

- ・アウトドア体験(ゴズ釣りほか)
- ・クリスマス会(各事業所)
- ・卒業式、卒業式後の保護者懇親会



### ●給付売上

- ・放課後デイ給付費2020年度8670万円/年から  
2021年度9770万円に+1100増

## <相談支援・地活>

- 相談支援事業所の本格稼働
- 地域活動支援センター ブックカフェ再開・ラーメンの日



## <法人全体として>

- 各種の懇親イベント
  - ・各事業所ごとの懇親会実施
  - ・新採用職員研修実施
- 有給休暇の取得推進
  - ・2022年度実績94%
- 産休・育休の取得推進
  - ・2名が男性育児休暇取得
  - ・しまねこころカンパニーの認定





## ＜2022年度収支決算の概要＞

- 2022年度総収入：2億3千5百万円（前年度比 2500万円増）
- 総支出：2億3千1百万円（前年度比2100万円増）
- 利益：400万円（前年度比400万円増）

### ＜収入＞

- 介護給付事業-児童：44%
- 相談支援・地域活動支援：5%
- 訓練等給付事業-就労：33%
- 就労支援に関わる事業収入：約16%
  - ・委託事業
  - ・助成事業
  - ・自主事業
- 補助金、臨時収入（約2%）
- 寄付・会費（1%未満）

### ＜支出＞

- 人件費：71%
- 家賃：5%
- その他経費24%

## <2022年度のよかったこと・反省>

### ■よかったこと

- コロナ渦でも安定した事業所運営
- 法人全体では増収、増益決算
- 正社員に2.5か月の賞与を支給、定期昇給の実施
- 就労移行支援事業から2名、B型から2名就職
- 放課後デイ 徐々に催し、所外活動の再開
- 正規職員の採用・登用が進んだ
- 大きな事故がなかった

### ■反省、課題

#### ●事業面

- ・現在の事業のブラッシュアップ、新規事業開拓、取捨選択
- ・相談支援、地域活動支援センターの取り組みの発展

#### ●人材、組織面

- ・風通しの良い、意見の言いやすい環境づくり(継続して)
- ・着実な研修の仕組みの整備
- ・職員報酬をさらに上げていくこと

#### ●経営面

- ・放課後デイ、就労支援とも定員に対する充足率のアップ